

＝水産海洋イノベーションオフィサ（IOF）の育成プログラム＝

複数大学連携による人材育成ネットワーク構築の取り組みを推進

代表機関：東京海洋大学
共同実施機関：岩手大学
北里大学

水産海洋イノベーションオフィサ（水産海洋IOF）とは、

環境・資源の保全から流通消費まで網羅する水産海洋分野に特化した知識を備え、研究支援を行うURA*（リサーチ・アドミニストレータ）の名称です。全国の水産都市と研究機関とを結びながら研究支援を行い、新たな産業の創出や課題の解決をサポートする人材です。

*URA (University Research Administrator)

URAは、大学等において、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行うことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材です（文部科学省公募要領より一部抜粋）。

水産海洋 IOF



専門分野に特化した知識・技術

URA の標準スキル

なぜ水産海洋IOFが求められるのか？



水産海洋分野では、資源の保全管理、養殖生産から「生産→流通→消費」まで通貫した産業体系の中でのマネジメントスキルが必要になります。また、その研究開発も大学にとどまらず、他の研究機関や地域の企業・団体等と密接に連携し、解決を図ることが必要です。そのマネジメントや橋渡しを担うのが水産海洋IOFです。

資源の保全管理、養殖、加工

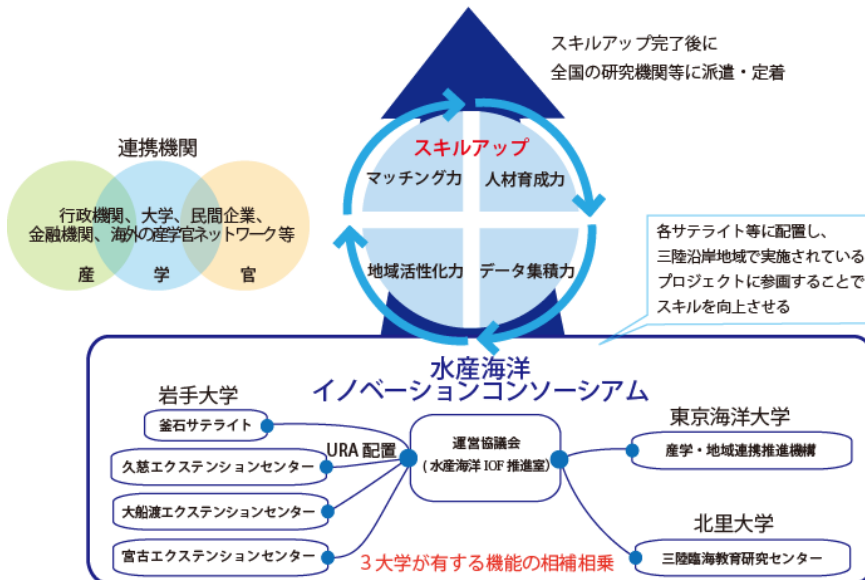
流通、販売

消費



水産海洋IOFが支援

全国の水産業の成長産業化を支える "高度な実践的研究支援人材"



採用された水産海洋IOF候補は、東京海洋大学・岩手大学・北里大学が有する各サテライト等に配属され『SANRIKU(三陸)水産研究教育拠点形成事業』等、主に三陸沿岸地域で実施されているプロジェクトに参画します。

プロジェクトを通して、資源の養殖、保全管理から「生産→流通→消費」まで通貫した産業体系の中でマネジメント方法を学び、他の研究機関、地域の企業団体等と密接に連携しながら、新たな産業やマネジメント手法の創出に貢献します。

<活動の例>

- SANRIKU(三陸)水産研究教育拠点形成事業の推進
- 競争的資金の獲得支援
- 知的財産（特許、商標等）の権利化支援、啓発活動



ホタテ・カキ・ホヤ養殖視察



魚市場視察



冷凍設備視察

←平成26年度の活動
気仙沼市における
水産業の現状視察

本件問い合わせ先

【東京海洋大学】
【産学・地域連携推進機構（品川オフィス）】
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
東京海洋大学 7号館2階
TEL: 03-5463-0859 FAX: 03-5463-0894
HP: http://olcr.kaiyodai.ac.jp

【水産海洋IOF推進室】
宮城県気仙沼市魚市場前7-13
気仙沼海の市3階
TEL/FAX: 0226-29-6719

